

慈恩寺 Times

第三号

【発行】

慈恩寺国史跡指定推進委員会

【発行日】

平成 25 年 4 月 20 日 (土)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市 生涯学習課歴史文化係

TEL:0 2 3 7-8 6-8 2 3 1

E-mail :shogaku@city.sagae.yamagata.jp



復元された慧日寺金堂

3月25日に慈恩寺国史跡指定推進委員会主催で、慈恩寺基本計画検討委員会（略称）と一緒に、国史跡である福島県の慧日寺跡へ視察研修に行きました。

ここは、平安時代初期に会津仏教文化の祖である高僧・徳一が開基した寺院で、当時の建物は残っていませんが、発掘調査の成果を基に建物が復元されています。周辺には休憩施設や資料館も整備され慧日寺跡の魅力を堪能できます。声明（仏教音楽）公演等のイベントや奈良・興福寺との交流を行うなど史跡を活かしたまちづくりを積極的に行っており、多くの観光客が訪れています。

慧日寺跡

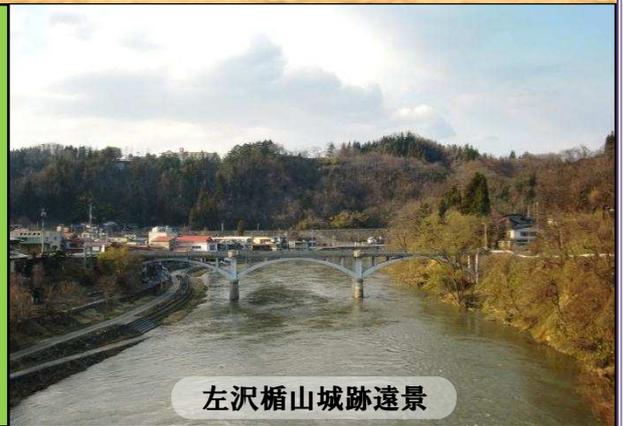
—福島県磐梯町—

国指定史跡先進地に学ぶ

3月15日に国史跡指定推進委員会を開催し、大江町の国指定史跡左沢楯山城跡の整備・活用の取り組みについて説明を受けました。左沢楯山城は、平成20年に国史跡指定を受けた約500年程前の中世の山城跡です。西村山地方一帯（寒河江荘）を治めた大江氏の一族によって築られました。大江町では現在史跡の保存を第一に、全貌解明のための調査を続ける傍ら、住民対象のワークショップを行うなど、町の宝・楯山城跡の整備・活用を行政と町民の力が一体となり進めているそうです。

左沢楯山城跡

あてらざわたてやまじょう
—山形県大江町—



左沢楯山城跡遠景

【慈恩寺調査最前線】

「慈恩寺本堂墨書調査」



壁面いっぱいに残された落書

本堂内の東西隅に収蔵庫となっている部屋（堂蔵）があります。壁面に残されている江戸時代初期の落書を山形大学の三上准教授に調査していただきました。

落書は寛永年間（1624～1643）に書かれたもので、全国の寺院堂舎落書に見られる決まり文句「形見々々」の他、読経の回数（かたみかたみ）を示すもの、戯れの落書等が書かれています。当時の人々の信仰や心性を知る貴重な資料です。

※現在、東西堂蔵は収蔵庫となっており非公開です。



悠久の里

慈恩寺

寒河江市

この度、慈恩寺国史跡指定に向けた動きを推進するため、のぼり旗を制作しました。現在、醍醐地区に設置しており、今後市内各地にも設置していく予定です。

のぼり旗を設置しました

達成

慈恩寺国史跡
指定までの道程

- ・学術的裏付け調査
- ・総合報告書作成作業
- ・指定予定地確定

- ・指定予定地内
地権者同意

- ・総合報告書
完成

- ・文化庁へ
指定具申書提出

- ・文化庁が
文化審議会へ諮問

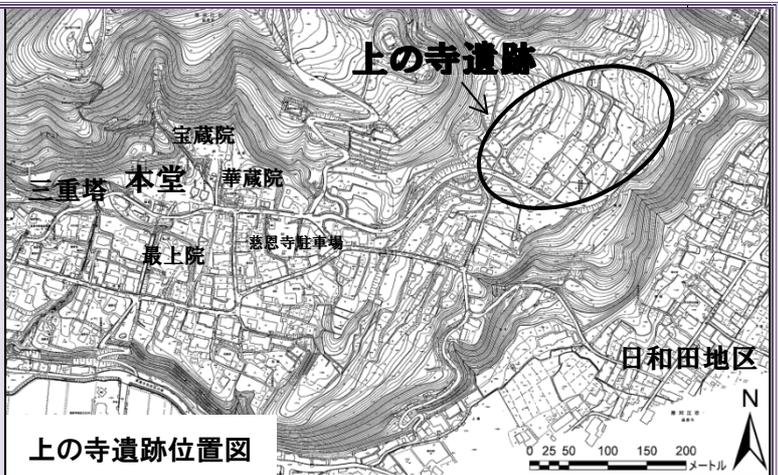


史跡・慈恩寺 Key Point

院坊堂社群② — 上の寺遺跡 —

上の寺遺跡は慈恩寺の北東部に位置し、慈恩寺と箕輪をつなぐ農道が建設される際に発掘調査された遺跡です。現在は畑や果樹園が広がる現地には土塁が残り、大小無数の平場が密集しています。文献や伝承では「聞持院」や「丈六堂」と呼ばれる寺院があったと伝えられています。

発掘調査の結果、中世（鎌倉～室町期）には伝承の通り堂舎が建ち並ぶ寺院群が形成されていたことがわかりました。大型の柱穴列跡やたくさんの中世の遺構・遺物から当時の慈恩寺の隆盛ぶりがうかがえます。東西に広大な慈恩寺伽藍は、江戸時代の初めに現在のように本堂周辺に集約されていきます。全容解明に向け、今後も継続的に発掘調査を進めていきます。



上の寺遺跡位置図

発掘された大型柱穴列跡



慈恩寺への思い

比類なき文化財

慈恩寺を後世に伝える

慈恩寺「悠久の魅力」

向上基本計画検討委員会

委員長 大沼 保養

杉木立の中にひっそりと息づく、荘厳な慈恩寺。その閑静なたたずまいは訪れる者の心を和ませ、千古の歴史へといざないます。寒河江市民にとって永年の夢、悠久の魅力を実現のものとする施策が、いよいよ具体化しようとしております。

昨年十月、慈恩寺基本計画検討委員会（略称）が設置されました。

本市の重点プロジェクト「寒河江の宝・慈恩寺の魅力」を向上させる様々な施策を検討、推進するもので、その歴史的財産を守りながら、観光資源としての活用をはかり、地域の活性化と寒河江市の発展を目的とするものです。

念願の国史跡指定もいよいよ視野に入ってきました。この比類なき文化財を、私たちの誇りとして後世に伝える為、今こそ多くの皆さんから再度慈恩寺に足を運んで頂きたいものです。そして、慈恩寺の魅力と振興の必要性を共有したいものです。

慈恩寺国史跡Q&A

Q 県内の国指定史跡にはどんなものがありますか。
 A 県内の国指定史跡は現在 26 か所（9市5町）あります。縄文時代～江戸時代までの集落遺跡、寺社境内、古墳群、城跡、古道・宿場町、商人屋敷、墓所など多岐にわたります。
 慈恩寺と同様の寺社境内地関係では、山寺（山形市）、鳥海山（鳥海山大物忌神社境内・遊佐町）があります。また、現在国史跡指定に向けて取り組んでいる史跡には舘山城跡（伊達氏居城・米沢市）、駒籠楯跡（古代水駅推定地・大石田町）等があります。

慈恩寺イベント情報

- ◆ 盂蘭盆会
⇒ 5月4日(土) 20時～ 本山慈恩寺
慈恩寺一山の年度の始まりを告げる行事。年に一度宮殿の扉を開き諸仏の塵を払います。
- ◆ 一切経会・慈恩寺舞楽
⇒ 5月5日(日) 13時30分 本山慈恩寺
三か院の住職が出仕し本堂で弥勒法を修し、舞台では声明を唱えます。その後、慈恩寺舞楽が奉奏されます。
- ◆ 慈恩寺秘仏展
⇒ 4月28日(日)～ 7月15日(月) 本山慈恩寺 (一般¥700)



▲慈恩寺舞楽「納曾利」

寒河江市ホームページ上に「慈恩寺 Times」バックナンバーを掲載中！

慈恩寺 Times